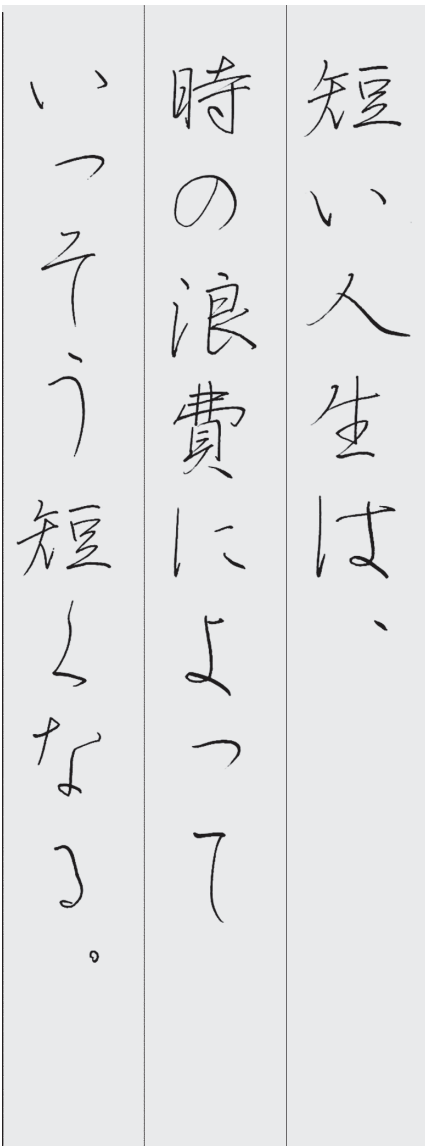


憲照先生の手本ア・ラ・カルト(29)
(à la carte)

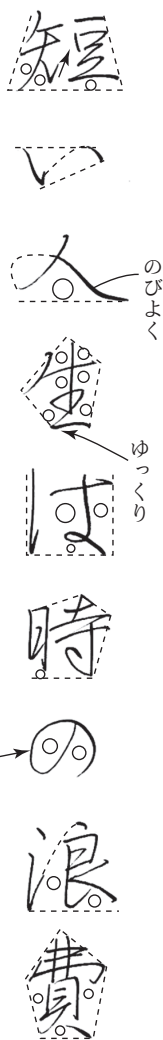
締切り 五月二十四日(必着)

昭和48年5月



つけペン・墨汁使用

〔解説〕



◎本会は、今年で創立六十八周年を迎えます。まだまだ世の中は、新型コロナウイルス禍の影響で、世界中が不安の中にいます。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎今年の短期特別課題は、昨年同様『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。

お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。同一課題を楷・行・草の順で繰り返し、掲載していく予定です。

◎多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

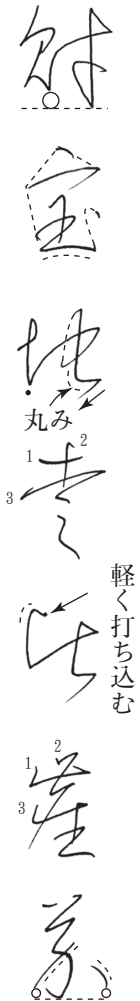
- 〔作品の出し方〕
- ▼今回も硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。
 - ▼用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。
 - ▼出品制限の対象とはなりません。
 - ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。
 - ※不明な点は無記入でも結構です。
 - ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。
 - ▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様にお願いします。

★短い人生は…(書体Ⅱ行書)
サミュエル・ジョンソン
(一七〇九〜一七八四)
イギリスの詩人・批評家
時間を無駄遣いすることは、人生において使える時間を短くすることである。それは結局、人生を短くすることに等しい。
どんな忙しい時でも、目的意識を持って、後悔するような時間の使い方をしないようにしたいものです。

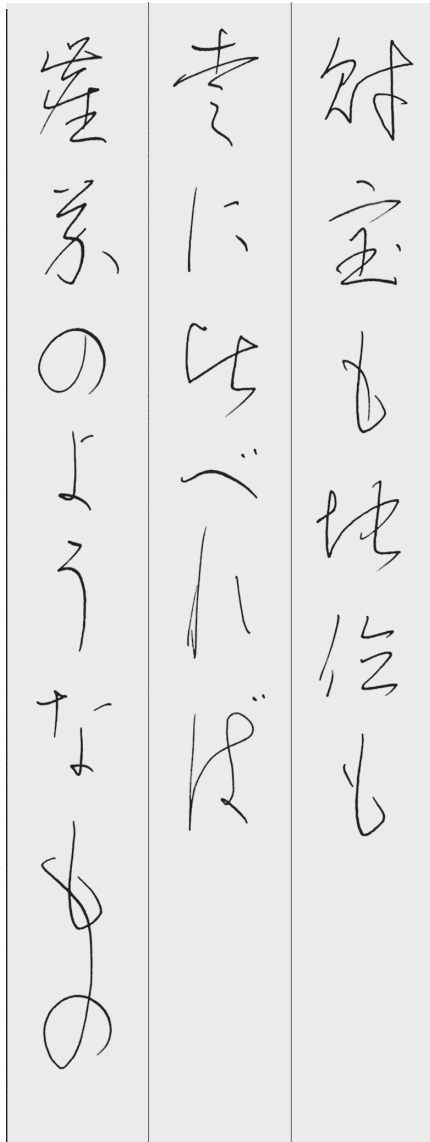
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。



新井龍峰書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



	連	比
	理	翼
白	の	の
楽	枝	鳥
天		

古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★比翼の鳥：(書体Ⅱ楷書)

昔から夫婦の深い契りをたとえてつかわれる言葉。唐代の詩人、白楽天が唐の玄宗皇帝と愛妃楊貴妃との愛をうたった「長恨歌」という叙事詩にあります。

「比翼の鳥」は伝説の鳥で雌雄とも目と翼がそれぞれ一つずつで、一体とならなければ飛べないといわれ、またいつも翼を並べて飛ぶ仲の良い鳥という解釈もあります。「連理の枝」は、根本が二つだが幹は一つに合わさって木理(木目)がつながった木の枝のことである。

◆6月課題予告(行書)

生涯の方向を
決定づけた本
コロンブス

★財宝も：(書体Ⅱ行草または草書)

グラッドストーン

十九世紀イギリス政治家

彼は二十四歳で下院議員に当選してから八十五歳まで四度にわたり内閣を組織するなど六十二年間にわたって政界の第一線にあって活躍した人で財宝のうえでも、地位のうえでも、当時のイギリスでは最高に恵まれた人でした。その様な人に「財宝も地位も愛に比べれば……」と言われれば、なるほど愛は何ものにも代えがたく尊いものだと感じさせられる。

◆6月課題予告(楷書)

私は一生の間

一片のパンさえ

座食しなかった

▼教範・書範Ⅱ行草または草書

▼師範Ⅱ行書

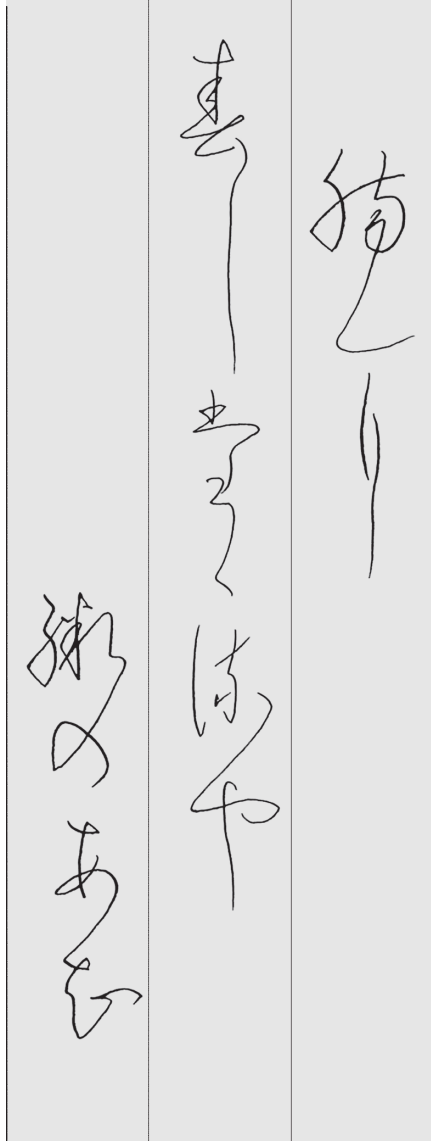
一般部かな課題

締切り 5月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

腸耳に春滴しるや粥流の味あ



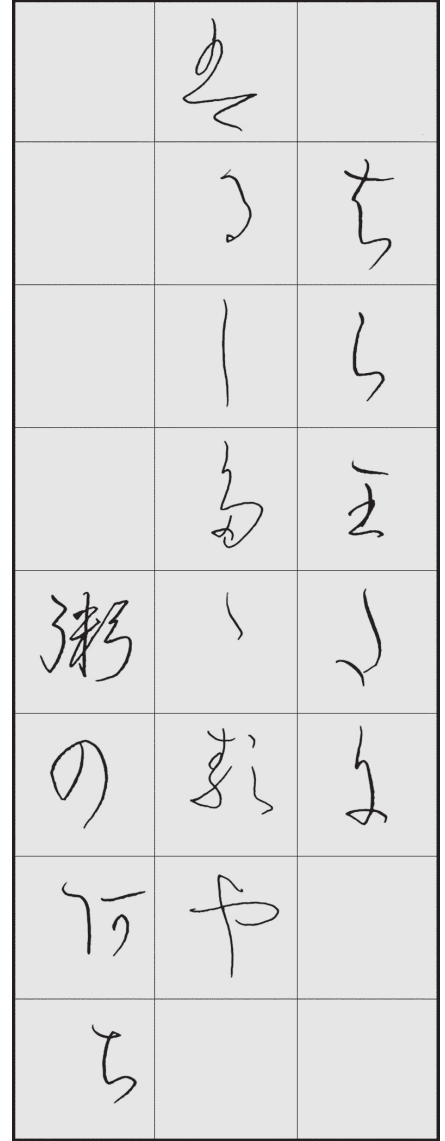
者者ら王多尔盤るし多、類
腸者に春滴者るや粥者の味者

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



田 中 貴 光 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆6月課題予告

あらたふと青葉若葉の日の光

(松尾芭蕉)

〔解説〕へまは、まのへは右側に書き、へまは中心にもどして書いて下さい。

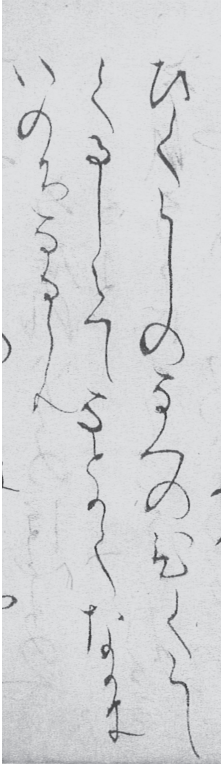
流る 類る 盤は 耳に 者は

〔古筆参考〕

腸はらわたに春滴したたるや粥かゆの味あじ
 (夏目漱石)
 〔句解〕永く病臥びょうがしていた身にしばらくぶりて味わう粥かゆのうまさ。口に運んで飲み下すと、臟腑ぞうふに春のみずみずしさがしたたるように感じられる。
 〔鑑賞〕明治四十三年の作。へ修善寺病中への前書がある。日記に、吐血し人事不省に陥ったのが八月。初めて粥を食べたのは九月。へ粥かゆも旨いといふ記事は九月二十三日。この句は、季の約束からいえば春であるが、実際は秋の作。

〔古筆参考〕

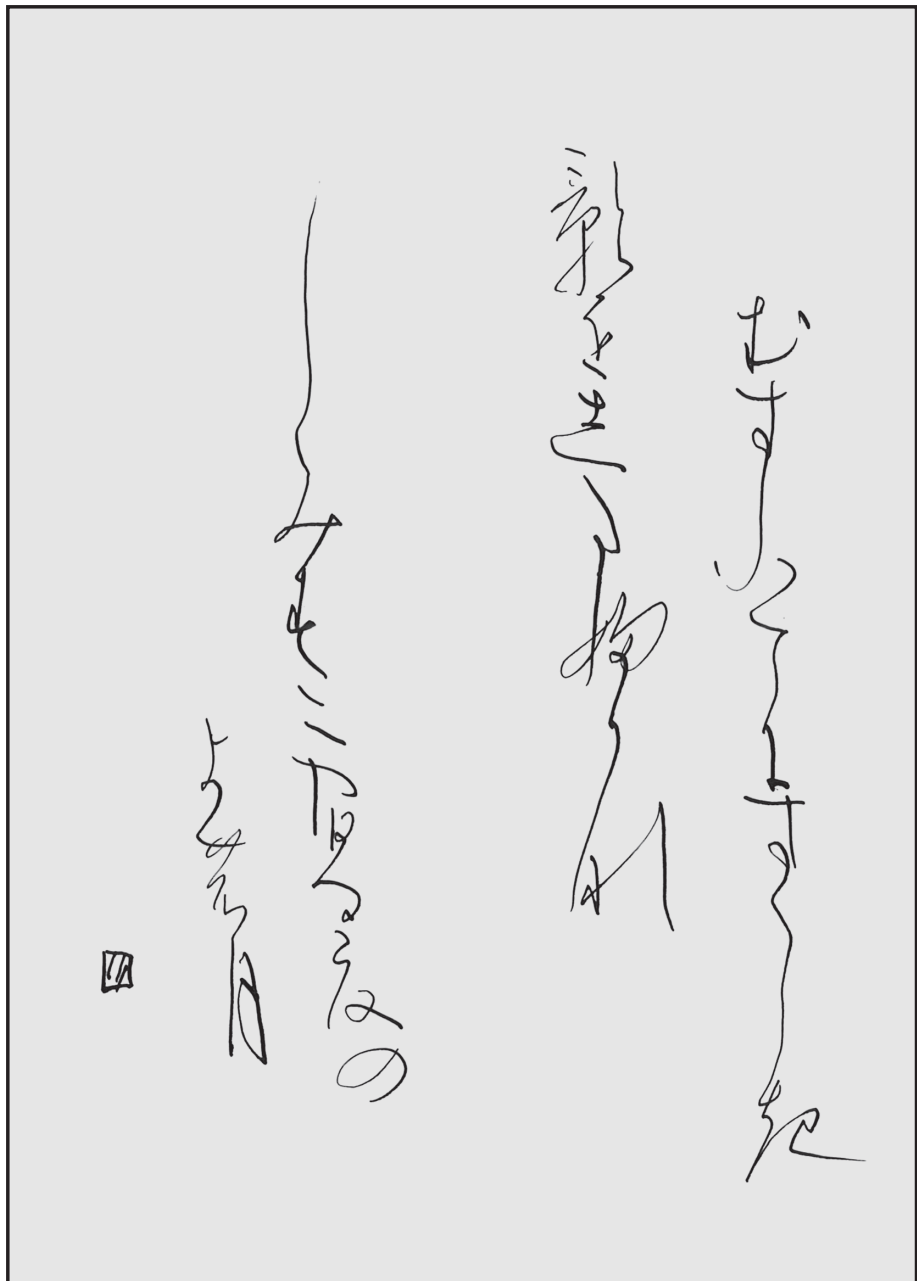
なかつかきしゅう
中務集



ひぐらしのなつ奈のひぐらし飛
くるしくて奈などかくな可がき可
いのちな奈るらん

締切り 五月二十四日(必着)

築瀬舟香書

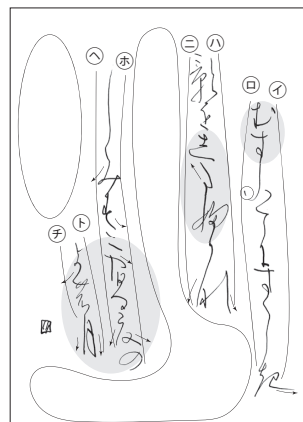


掬むすぶ手てに涼すずしき影かげを慕むすふかな
清水しみずに宿よる夏の夜よの月つき

〔歌意〕 手ですくいあげる清水に夏の夜の月が宿って、その涼しい影を慕うことだよ。

〔出典〕 新潮日本古典集成

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、②と③、②と④、②と⑤、②と⑥、②と⑦、③と④、③と⑤、③と⑥、③と⑦、④と⑤、④と⑥、④と⑦、⑤と⑥、⑤と⑦、⑥と⑦、⑦と⑧、⑦と⑨、⑦と⑩、⑦と⑪、⑦と⑫、⑦と⑬、⑦と⑭、⑦と⑮、⑦と⑯、⑦と⑰、⑦と⑱、⑦と⑲、⑦と⑳、⑦と㉑、⑦と㉒、⑦と㉓、⑦と㉔、⑦と㉕、⑦と㉖、⑦と㉗、⑦と㉘、⑦と㉙、⑦と㉚、⑦と㉛、⑦と㉜、⑦と㉝、⑦と㉞、⑦と㉟、⑦と㊱、⑦と㊲、⑦と㊳、⑦と㊴、⑦と㊵、⑦と㊶、⑦と㊷、⑦と㊸、⑦と㊹、⑦と㊺、⑦と㊻、⑦と㊼、⑦と㊽、⑦と㊾、⑦と㊿
- 余白大切。
- ∟ の方向大切。
- 面構成、密の動きに注意。

◆6月課題予告

おのづから月宿るべきひまもなく
池に蓮の花咲きにけり

締切り 5月24日(必着)

木々をわたる風にも、そこはかとなく初夏の気配を感じる頃となりましたが、お変わりありませんか。子供達の健やかな成長を願ってうちのベランダにも、紙で出来た小さな鯉のぼりが泳いでいます。

木々をわたる風にも、そこはかとなく初夏の気配を感じる頃となりましたが、お変わりありませんか。子供達の健やかな成長を願ってうちのベランダにも、紙で出来た小さな鯉のぼりが泳いでいます。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

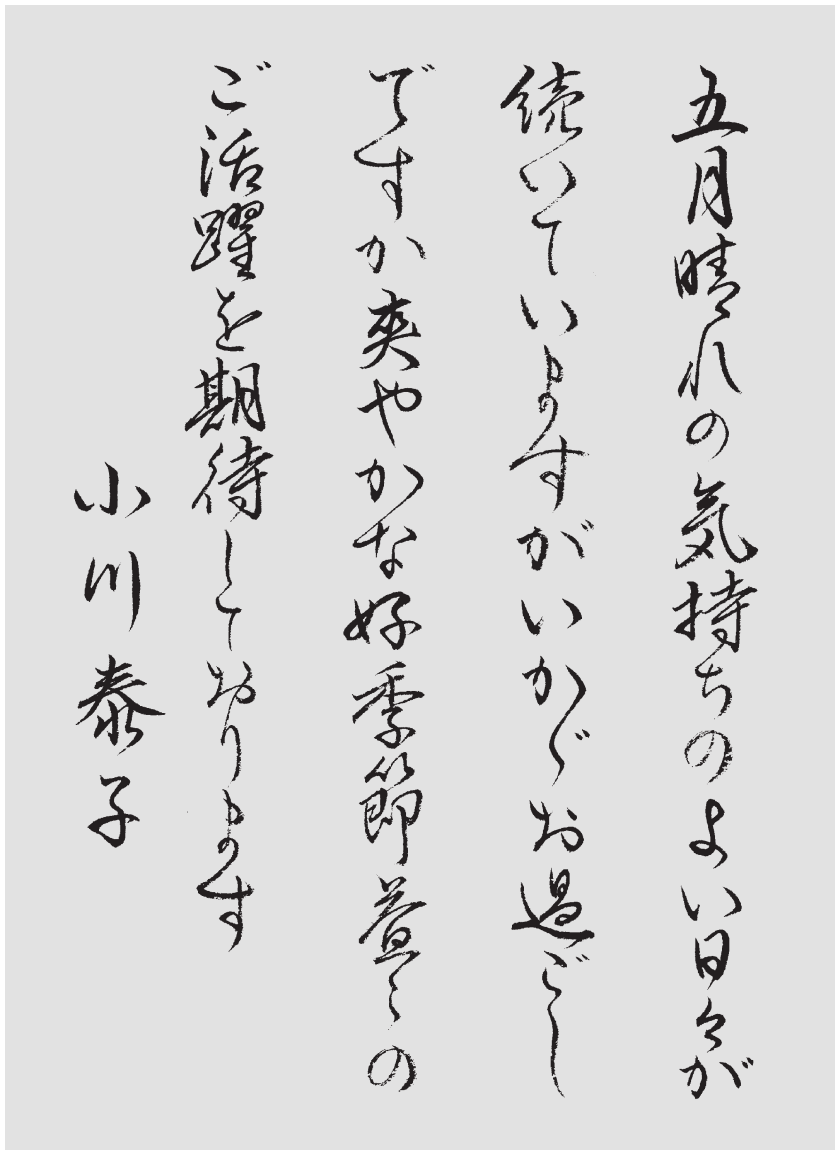
1728年に長崎に渡来した象は、
京都・江戸と運ばれ人気を博した。

徳島県美馬市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

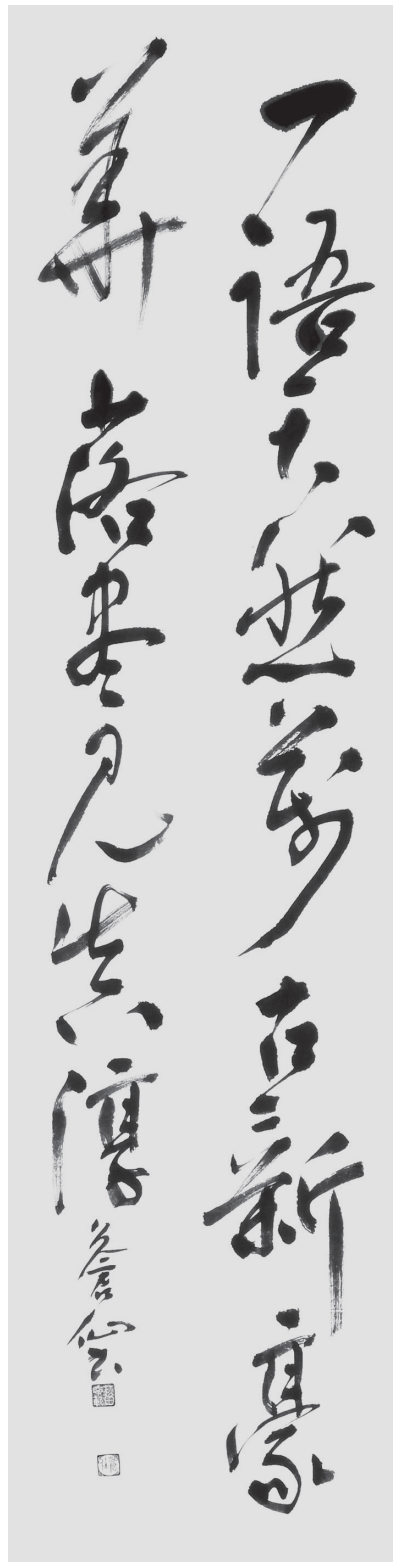
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

伊藤梅香 書



締切り 五月二十四日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙 書

一語天然萬古新

豪華落盡見真淳

元好問

〔大意〕自然な一語が永遠に新鮮、豪華をすっかり落して純粹の真実が現れる。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕

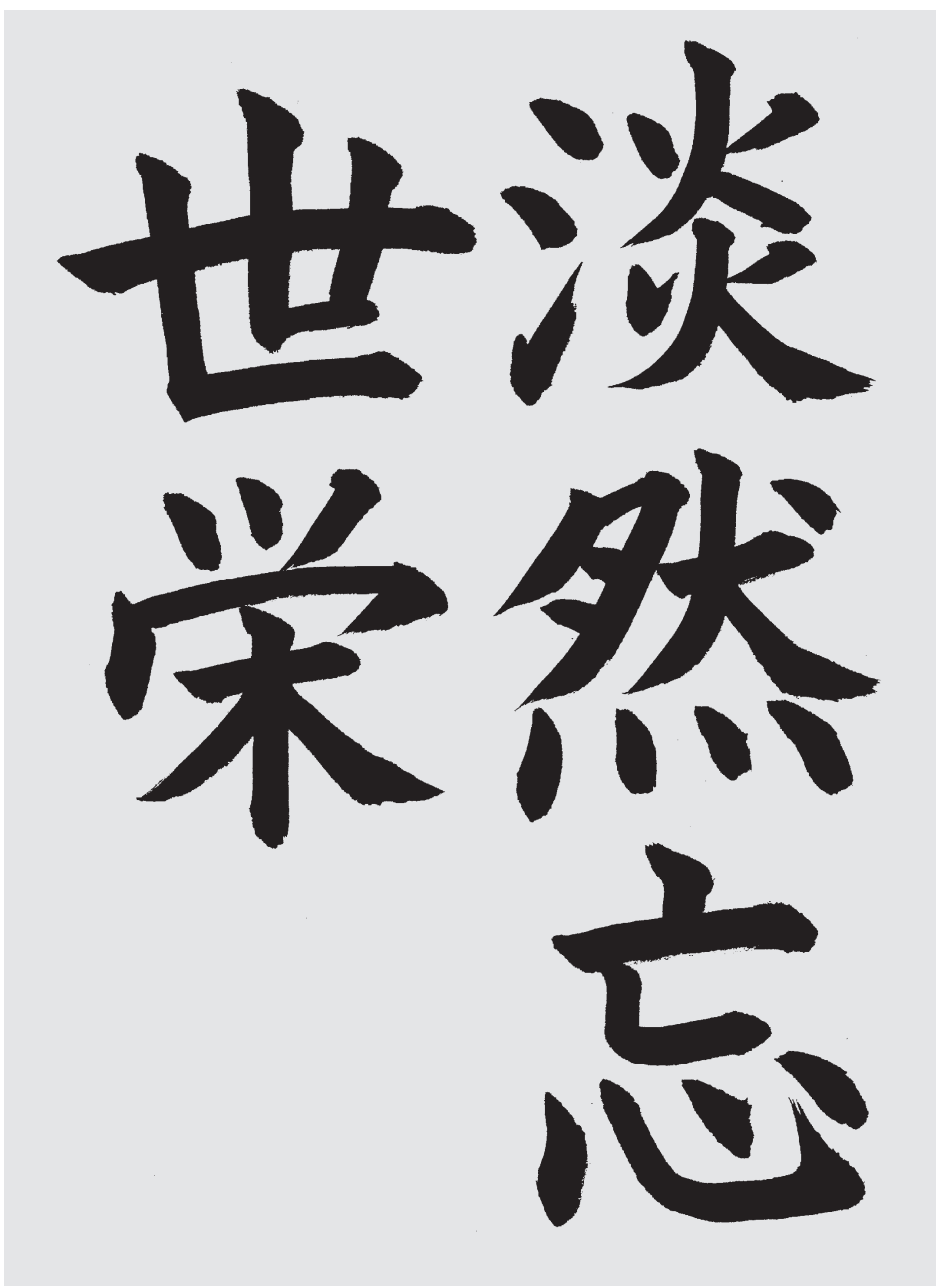
一度に二十曲、三十曲歌っても上達しない。一節一節を大切に正確に歌うことです。多字数も結構ですが七言二句以内位で強い線とは？よい形とは？……しっかり身につける事です。教育書道とは筆使いが違うことを知って下さい。即ち両方の筆使いを学んで下さい。

- ・五月晴れの気持ちのよい日々が続いていますか？お過ごしですか 爽やかな好季節着々の活躍を期待しております
- ・印で墨つぎしました。
- ・(ご自分の氏名)

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(楷書)

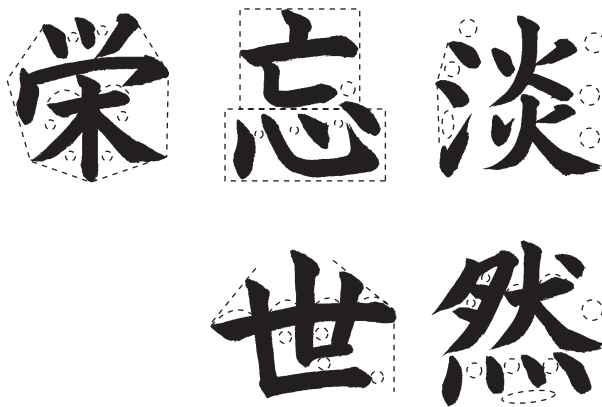


たんぜんとしてせいをわする
淡然忘世榮

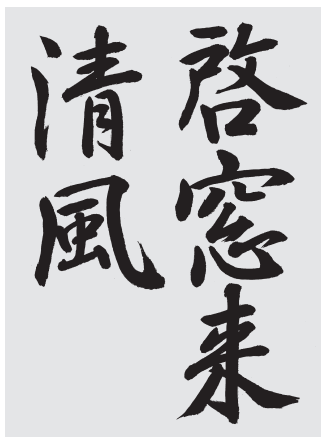
〔大意〕心は淡然として執着なく、世の榮誉何かを忘れてしまう。

しみずすいすいほう
清水翠芳書

〔解説〕



◆6月課題予告(行書)



準初段から師範まで

聖記夫 顯揚正

須田一葉臨

聖
記
夫
顯
揚
正

聖記夫 顯揚正

〔出典〕 集字聖教序(六七二)
〔筆者〕 王羲之法書より集字
〔読み〕 聖記夫れ正(教を) 顯揚するは、

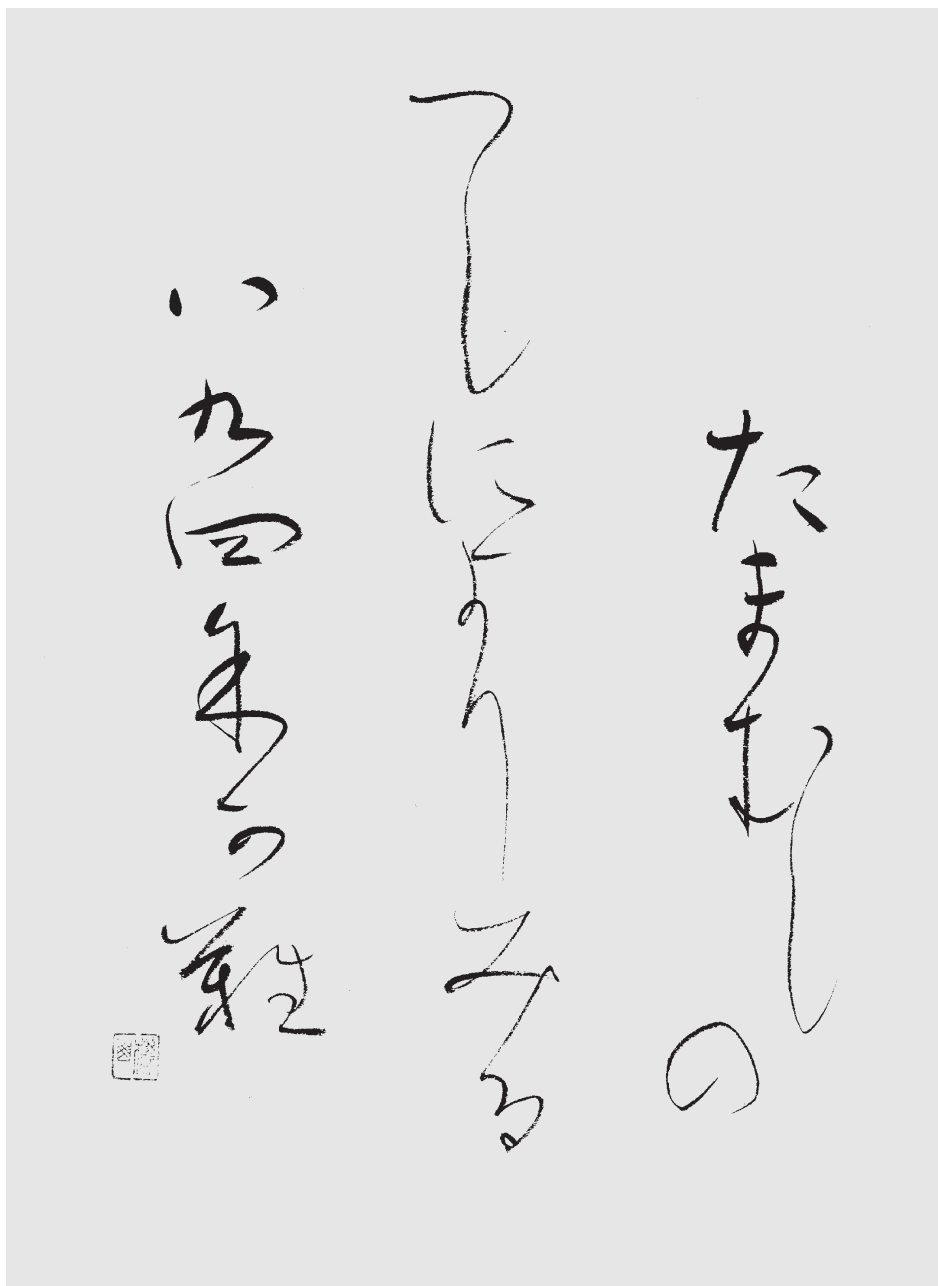
聖 記 夫 顯 揚 正

◆6月課題予告
※文献によって字体が異なる場合があります。

聖記夫 顯揚正

新入から1級まで

浅井機山先生書



たまむしの
厨子により見る
薄暑かな

八九四余可難
松瀬青々

〔句意〕

法隆寺の宝物殿に安置される玉虫の厨子。それに近寄って薄暑を感じた。はじめてうっすらと感じる汗ばむほどの暑気。玉虫の厨子への感動の句である。

◆6月課題予告

ほととさす
子規なくや夜明の海なる

〔解説〕

まず全体を見ると、

上5の流れは、「し」が右に移行し、「の」を左に添えています。

中7の流れは、まっすぐ下へ流れているようにしながら、「る」をちょっと右へ寄せています。

下5は、「可」を右に寄せ、「難」でまっすぐに流れているように見せています。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「たまむしの」

「た」、横線の第1画は、たっぷり含墨した筆で空中からたたくように入筆し、じっくり引きます。第2画は、突いて軽やかに書いて変化させます。

「まむ」とリズムカルに運筆しますが、「し」は軽やかに踊ります。「の」はじっくり書いておさめます。なお、「し」は下方に流して構いません。

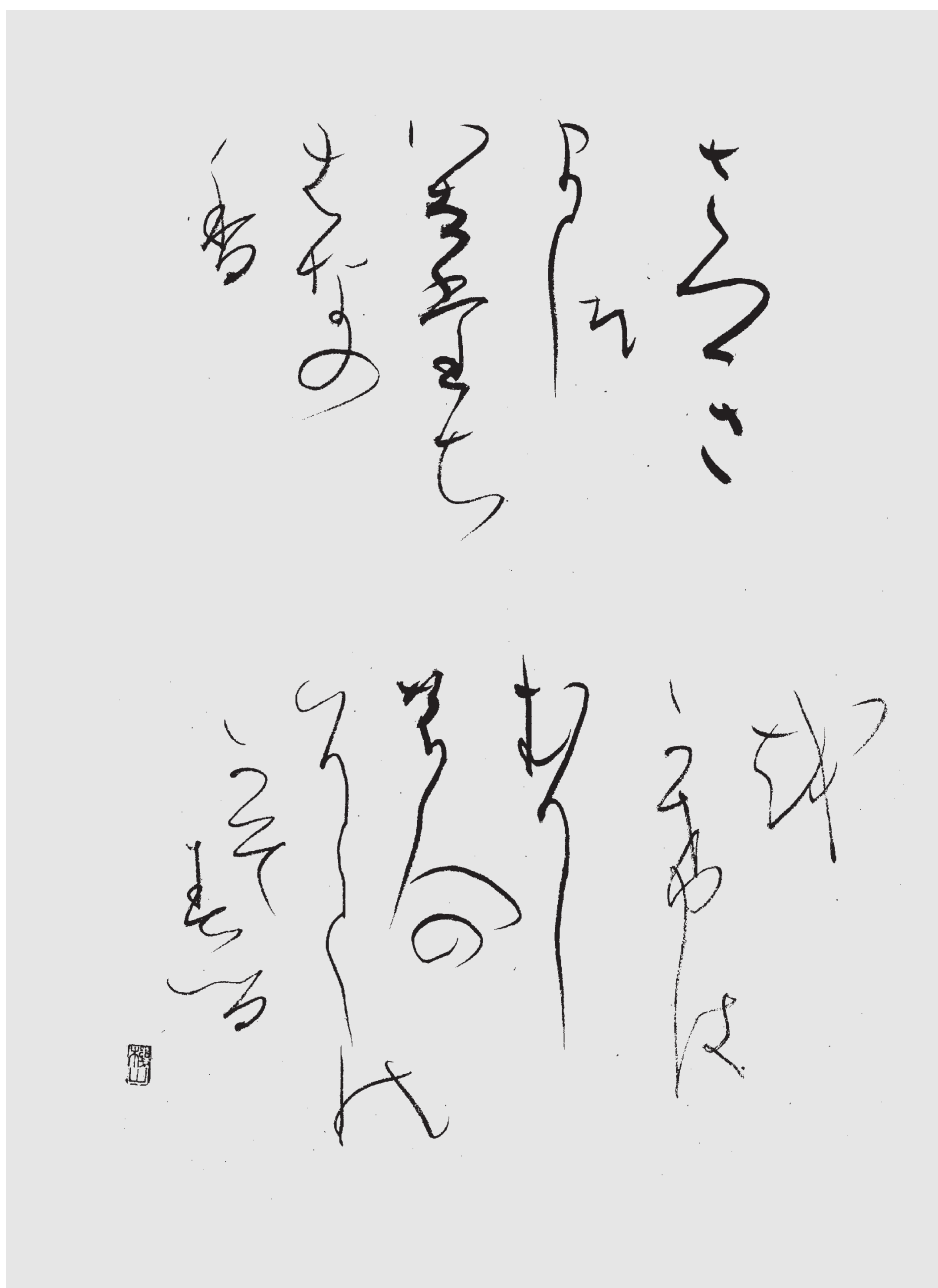
「つしによりみる」

突いて横に引いた「つ」が、曲線はゆっくり右に揺れながら、「し」は軽やかに、曲線でゆっくり回って回り切ったら一気に跳ね上がります。

「八九四余可難」

「八九四」は、数字の変体仮名です。最後の「難」は、1行を完結させるとともに、全体を注視しながら安定させていきます。左側は太く、右側は細く書いて1字の中で変化させます。

準初段から師範まで



浅井機山先生書

五月さつきま待つ徒花八奈堂ち者な橘越の香可を可かげ希は

昔むかしの人の袖曾の香能を可する春留

古今集3・夏139 読人しらず

〔歌意〕

五月の季節を待つて咲く花橘の香をかぐと、昔親しくしていた人の、袖にたきしめていた香のにおいがして、なつかしい。

◆6月課題予告

猫の子の首の鈴が音が音かすかにも音のみしたる夏草のうち

〔解説〕

まず全体をみると

上段と下段の2つに分かれていますが、上段は、字数も少なく右左に余白を持っていきます。下段は、少し横へ広がっています。共に行頭は緩やかなカーブを描いています。

全体として、1行の字数が少ないので、1行1行は書きやすいのではないかと思います。

さて、1行ずつ見ていきましょう。

「むかし」

太めに書き出しています。

「ま徒」

やや細めにして右行と変化させます。

「八奈堂ち」

「奈堂」で太くして右2行と変化させます。

「者なの」

細く書いて右3行と変化させていきます。

「香」

細いが画数が多いので右4行と変化させ、5行ひとまとめにして塊を作ります。

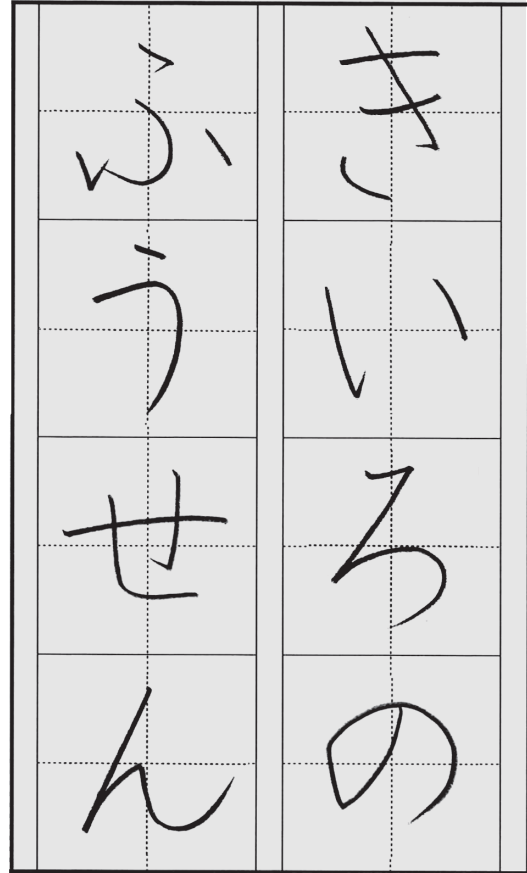
「越」→「可希は」

上段との間に間に気を付けながら、最初の「越」の位置を決めます。

「むかし」→「春留」

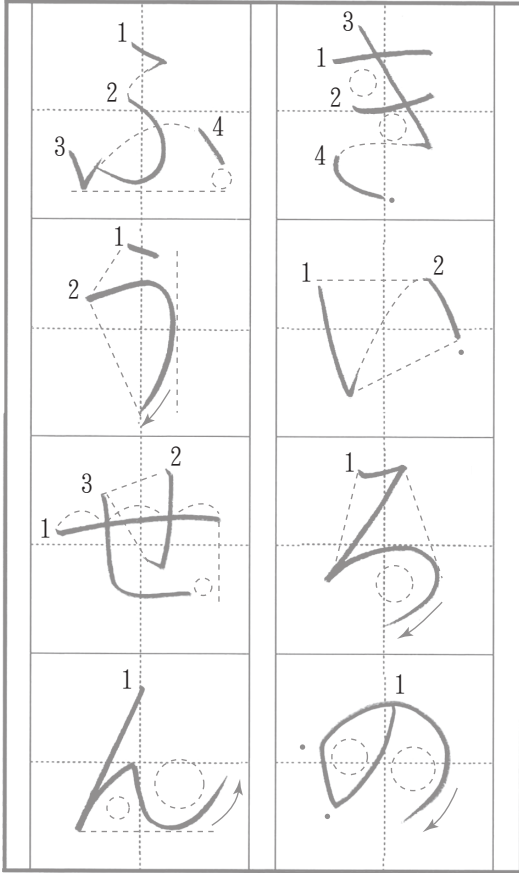
「む」、ここで墨継ぎします。各行、ゆるやかに右へカーブさせて各行を書いて「春留」で塊を安定させます。

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

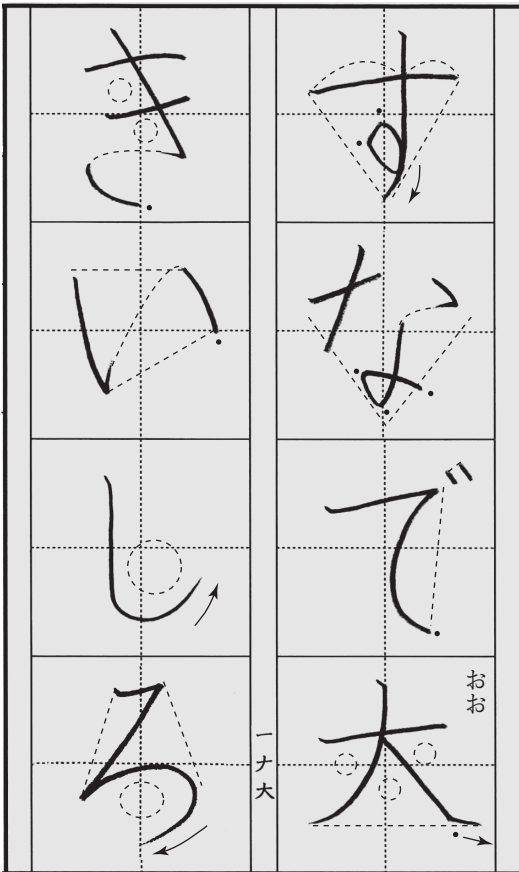
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準
初
段
以
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

コ 弓	ゆみ ノ ム ニ 矢 矢	や 矢
の	を	
メ イ 名	い	
ジ ン 人	る	

新入〜1級

る	け	り
弓	て	ん
の	矢	ご
名	を	目
人	い	が

小二年

準初段以上

戸 屋 屋 屋 屋	や 広 庭 庭 庭 庭	に わ 庭
を	に	
つく イ 作 作 作	い ぬ 犬	
る	小	

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小	つ	父
屋	て	を
を	庭	手
作	に	つ
る	犬	だ

小三年

準初段以上

小四年

エイ	栄
ヨウ	養
ダイ	大
コン	根

栄 養 大 根

(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- * 用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- * 六月締切り分までは、この方法が続けます。
- * ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- * 七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

を	の	新
注	開	し
ぐ	発	い
会	に	技
社	力	術

を の 新 注 開 し ぐ 発 い 会 に 技 社 力 術

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

ハツ	新
チカラ	技
ジュツ	術
カイ	開

新 技 術 開

小四年以上 岡嶋桂川書

小六年

過	が	め
程	成	だ
を	長	か
記	す	の
録	る	卵

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

和程程程	テイ てい 卵卵卵卵	たまご 卵
記記記記	キ 記記記記	セイ 成成成成
録録録録	ロク 録録録録	チヨウ 長長長長
		カ 過過過過

用具自由(黒色に限る)

中一年

通	し	英
訳	て	語
に	将	を
な	来	勉
る	は	強

(楷書)

中二・三年

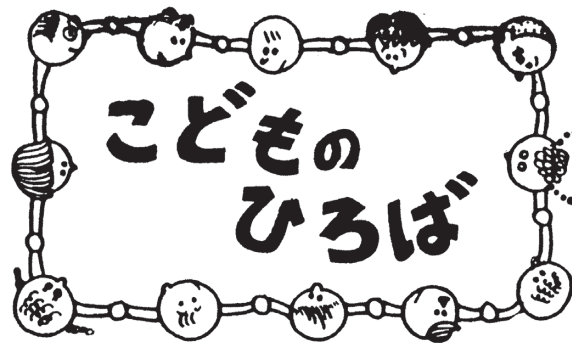
(楷書)

貴	を	恐
重	発	竜
な	掘	の
映	す	化
像	る	石

▼小三年以下の課題 まつ 浦 秋 琴 書

行 <small>い</small>	写 <small>しゃ</small>	近 <small>ちか</small>	水 <small>すい</small>	来 <small>らい</small>
き	生 <small>せい</small>	く	曜 <small>よう</small>	週 <small>しゅう</small>
ま	に	の	日 <small>び</small>	の
す		森 <small>もり</small>	は	
		へ		

◎お手本はえんぴつ使用



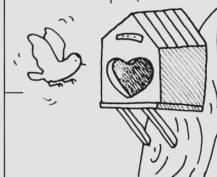
しめきり 5月24日 (必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 やす だ すい えん 保 田 翠 苑 書

観 <small>かん</small>	野 <small>や</small>	林 <small>はやし</small>	始 <small>はじ</small>	愛 <small>あい</small>
察 <small>さつ</small>	生 <small>せい</small>	や	ま	鳥 <small>ちよう</small>
す	の	森 <small>もり</small>	り	週 <small>しゅう</small>
る	小 <small>こ</small>	へ		間 <small>かん</small>
	鳥 <small>とり</small>	出 <small>で</small>		が
	を	か		
		け		

◎お手本はつけペン使用



◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年
酒井智仔書





小三〜小五年

水野碧友書

中二・三

恐竜

小六〜中二・三年

たまきしょうか
樹小華書

小六

記録

中一

通訳

訳 記
恐 録
竜 通

第124回 硬筆検定試験受験要項

5月24日締切り

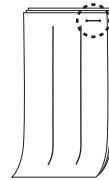
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、五月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスですて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題(小一から)⑤小論文⑥書歴(初回のみ)。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップですて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を六月号配布時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和五年五月二十四日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和五年八月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)

一般部三段コースまで(規定・かな) …… 一、二〇〇円

規定 …… 一、四〇〇円

活字課題 …… 二、〇〇〇円

はがき・かな …… 八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料
				楷書	行書	草書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	下掲課題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,100

▶かな……田中貴光書

▶規定……奥村憲照先生書

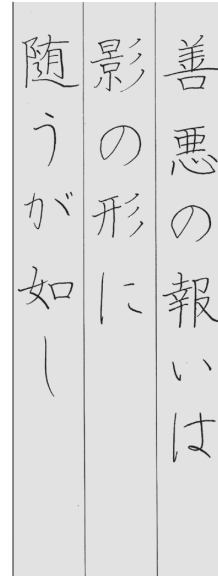
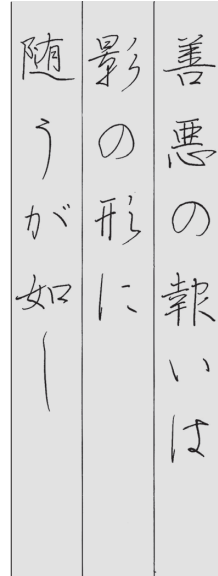
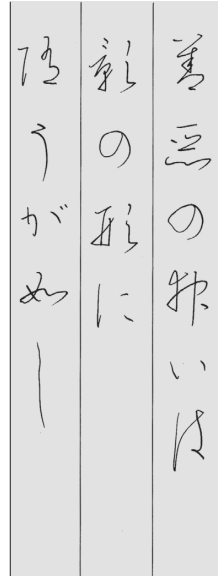
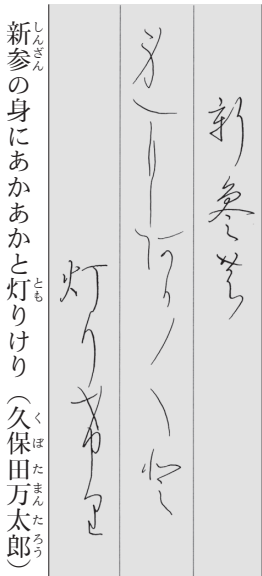
課題(ロ)
段位用紙

課題(イ)
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行書》
段位用紙

《楷書》
段位用紙



◎1級コースは級位(マス目)用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

コース	課題	受験資格	最高昇級段位	課題	規定			かな	はがき	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書				
一般部	書範コース	・有段者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,000
	教範コース	・書範 ・支局・支部長	教範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,200
教育部	普通コース			5月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	420
	会友コース	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生		5月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由						2	740

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すでに
単位を取得されていても、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上上検定試験を受験しないと
無効になります。

規定

書範・教範コース課題
両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

孝は徳の本なり

教えの由つて

生ずる所なり

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。
うれしとも思ひぞわかぬ郭公ほととぎす
春聞くことのならひなければ

はがき

両コース共通

待望の記念ペン字展が、間もなく
始まりますね。私も作品制作に
初挑戦しましたが、書き上げた時
の充実感、何にもたとえがたい
ものでした。出来はともかく私の
迷作をぜひ見に来て下さい。

(はがき用紙使用)

教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚
用具＝えんぴつ

小 1
赤 夕
い や
お け
空 の

用具＝えんぴつ

小 3
和 み 二
し ご つ
て と の
い に 音
る 調 が

用具＝鉛筆以外

小 4
小 必
した 勝
試 を
合 期

用具＝鉛筆以外

中 3
て よ 是
行 く 非
動 判 曲
す 断 直
る し を

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にまとめるとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼五月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

か	ま	若
お	ぶ	葉
る	し	の
季	く	光
節	風	は

(行書)

第84回 毛筆検定試験受験要項

6月22日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようお願いいたします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和五年六月二十二日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和五年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)
※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題 五段コース以上
会友コース以上

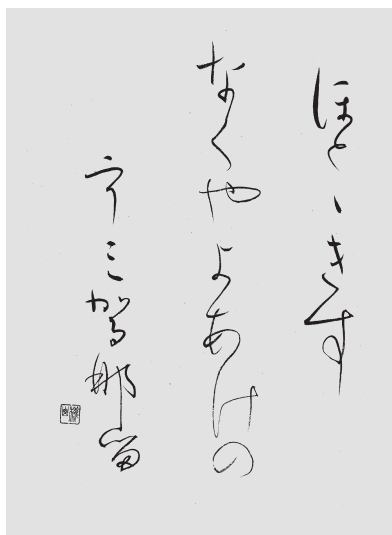
漢字半紙	一、二〇〇円
細字・かな	一、八〇〇円
漢字半紙	一、四〇〇円
細字半紙	一、四〇〇円
条幅	一、四〇〇円
細字	三、八〇〇円
教育部	二、〇〇〇円
細字	九〇〇円
教育部	九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,100

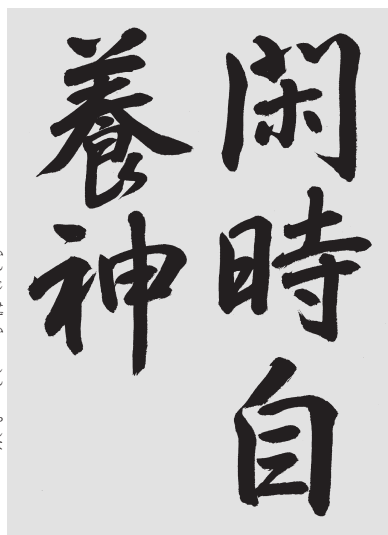
〔1級コース課題〕

《かな》



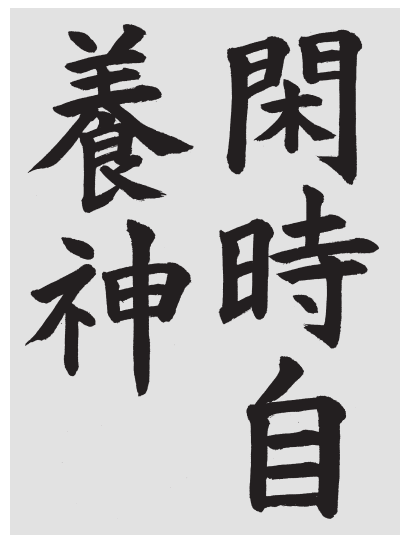
浅井機山先生書

《行書》



閑時自ら神を養う

《楷書》



清水翠芳書

ほろ、さす
子規なくや夜明けの海がなる

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料 (新価格)
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教育部	普通コース	—	6月しめきりの月例競書課題								1	420	
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)								2	740	

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
- 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されていても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
- 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効になります。

五段・書範・教範コース課題

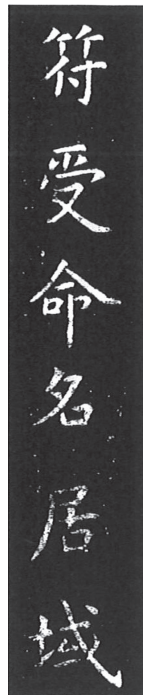
漢字

五段コース以上共通(半紙)

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

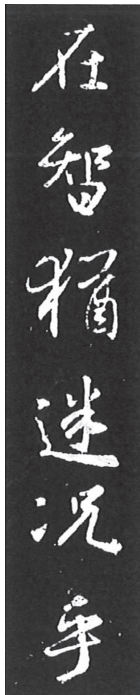
▼孔子廟堂碑

符受命名居域



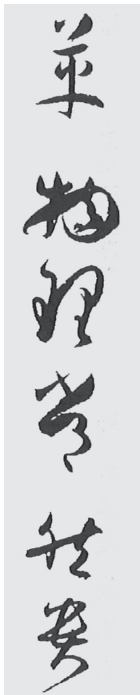
▼集字聖教序

在智猶迷况乎



▼書譜

革物理常然貴



かな 三段コース以上共通(かな用半紙)

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎猫の子の首の鈴が音かすかにも
音のみしたる夏草のうち(大隈言道)

※22頁参照

条幅 書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

詩書作我閑中地
風月知人醉裏天

細字 五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

端午の節句を迎え 柏餅を作る
べく和菓子教室で特訓しました
近い内に特訓の成果をお届け
出来ると思います お楽しみに

教育部手本課題 教範コースのみ(半紙)

小1 ひる
小6 国資格

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

会友コース課題

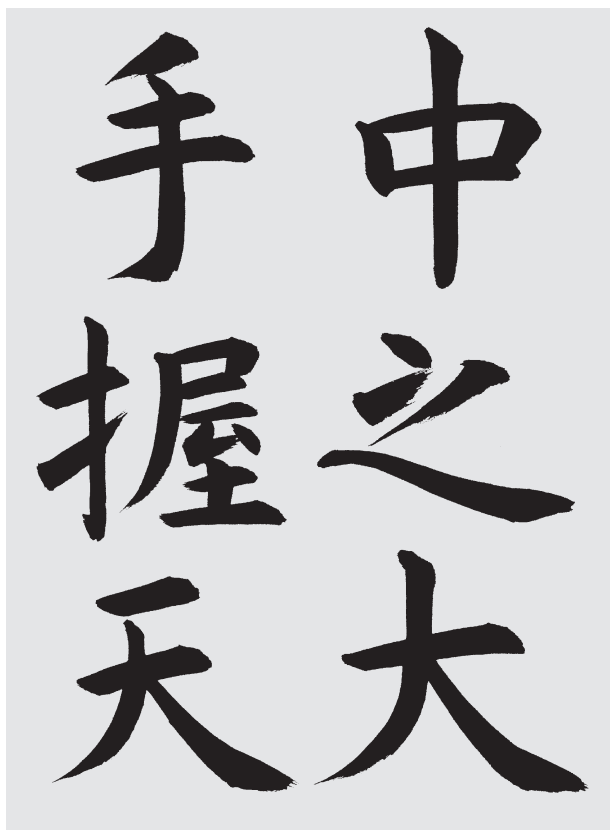
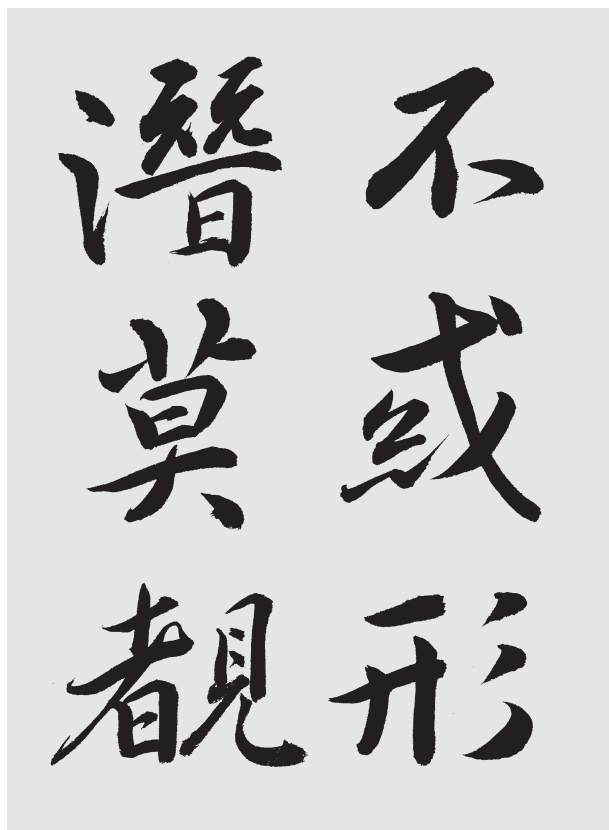
陽光 (行書)

▼六月締切りの自分の学年の月例課題一枚
上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



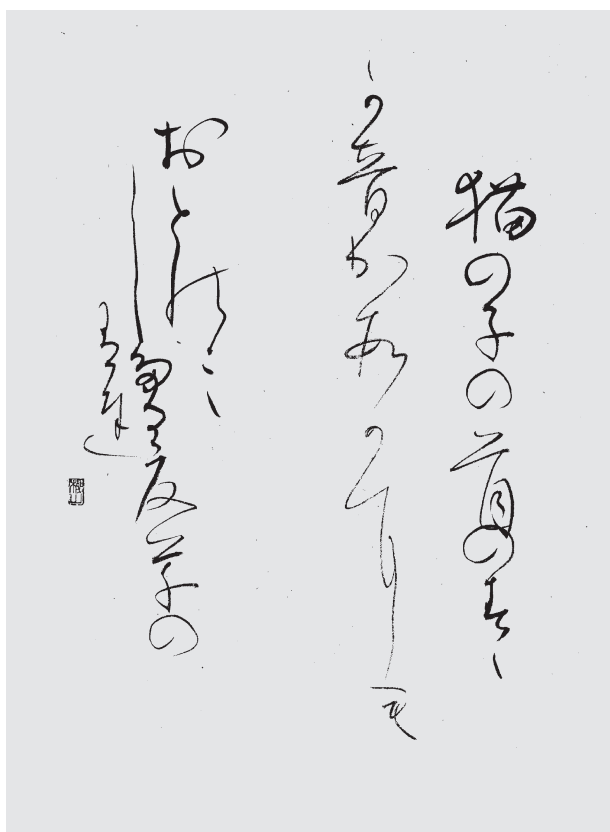
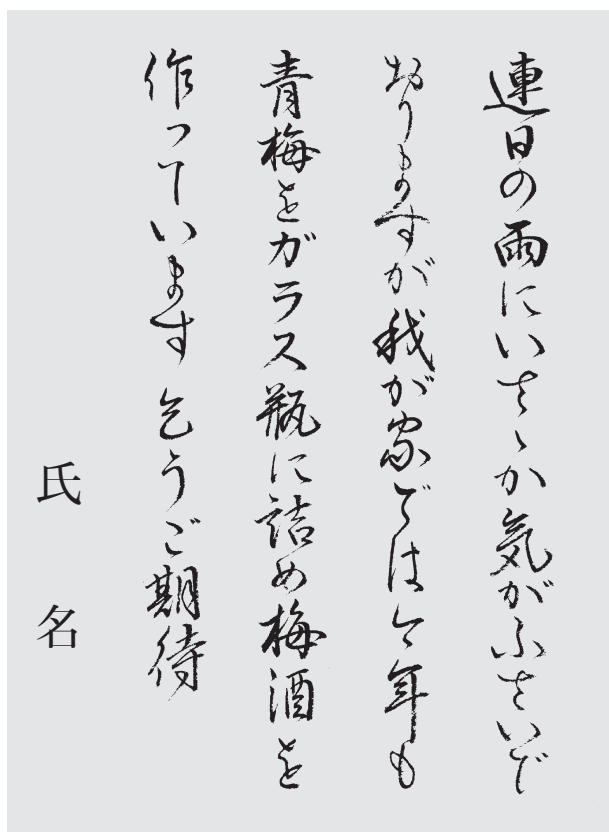
不
或
形
潜
莫
覩

中
之
大
手
握
天

神谷葵水先生臨

《細字》

《かな》



猫の子の首の鈴が音かすかにも
音のみしたる夏草のうち (大隈言道)

氏名

伊藤梅香書

浅井機山先生書

※かな・細字課題は六月の月例課題を兼ねます。